

令和 5 年度 (第19期) 事業報告

令和 5 年度 (第19期) 決算報告

令和 6 年度 (第20期) 事業計画

令和 6 年度 (第20期) 予 算

株式会社野田自然共生ファーム

## 第19期事業報告

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

江川地区においては、自然と共生する環境保全型農業を推進するため、引き続き減農薬による水稲生産を行うと共に、自然環境保全管理業務、コウノトリ飼育及び飼育施設等管理業務に取り組んでまいりました。

また、江川地区水田型市民農園については、田植えから収穫祭まで4年ぶりに全イベントを開催することができました。

船形地区においては、生産調整事業である麦、大豆の生産及び販売、さらに野田市堆肥センター運営業務、野田市農業人材育成事業、関宿落堀ビオトープ管理業務、小船橋水辺公園管理業務、野田市木野崎農業構造改善センター施設管理業務等を行ってまいりました。

なお、農業経営については、効率的経営や品質向上に努めてまいりました。

### 1 江川地区の農業事業

現在でも圃場の含水率が高く作付けが困難な状況ですが、引き続き圃場の再整備を図り、収穫量増を目指してまいりました。

#### (1) 圃場整備作業

水稲生産予定区域において、除草作業、水路の整備作業、均平整地作業などを実施しました。

#### (2) 水稲生産

江川地区の水田については、令和5年度も均平化整備、除草作業等の管理を行うなど、自然と共生する環境保全型農業を推進しました。

圃場の状態は良く稲刈りを進めて参りましたが、雑草の成長が速く稲が覆われてしまったことから、一部の水田は収穫を断念しました。

また、連日の猛暑の影響を受け、良質な米の収穫とはなりませんでしたが、前年度を上回る収穫量でした。

なお、令和5年度の総収穫量及び出荷米の数量は下記のとおりです。

単位：kg

品種名	JA 出荷米	市民農園配布	一般販売	くず米	総収穫量
コシヒカリ	2等 9,900	1,480	620	900	12,900

#### (3) 江川地区水田型市民農園

これまで同様、ファミリー型とオーナー型の2種類を企画し、スタッフの指導で田植え、草取り、稲刈りを開催し、その他に自然観察会、ホテル観察会、収穫祭を行いました。

令和5年度は4年ぶりに全イベントが開催することが出来たことから、参加者に好評を得ました。

令和5年度の結果は、下記のとおりです。

形 式	ファミリー型	オーナー型
対 象	公募による一般市民等	自然保護関係者 団体等
区画数	募集区画数 500区画 (1区画30㎡) 受付区画数 208区画 作付面積 6,240㎡	募集区画数 40区画 (1区画150㎡) 受付区画数 16区画 作付面積 2,400㎡
参加者数	参加者数 218人 内訳 大人 131人 子供 87人	参加者数 202人 内訳 自然保護関係者及び団体等 野田市内 4区画 107人 野田市外 12区画 95人
	野田市内 113人(27%) 野田市外 307人(73%)	
合 計	420人	

(4) エコロジカル・ネットワークへの取組

コウノトリの野生復帰保全計画への協力や魚道整備の作業等による水路整備、更には、池増設による生き物生息域の確保など、里地里山の保全に努めました。

(5) 農業体験学習等協力

1) 地元小学校米作り農業体験学習

4月25日(火)に福田第一小学校と福田第二小学校の5年生8名が田植えを行いました。また、7月12日(水)に稲の生育観察会及び生物調査を、9月5日(火)に稲刈りの協力をしました。

2) 地元中学校スペシャルスタディ

福田中学校が行う江川地区でのフィールドワークは、11月18日(土)に実施されたことから協力をしました。

3) 職場体験学習

東京薬科大学生命学部応用生命科学科2年生2名を、3月4日(月)から3月8日(金)まで受け入れ、インターシップ実習の協力をしました。

(6) 江川地区自然環境保全管理業務

江川地区自然環境保護対策基本計画及び第2期生物多様性の戦略に基づき、自然に配慮した水田の維持管理作業、自然環境調査等を実施しました。

2 船形地区の農業事業

(1) 農業生産調整事業

船形互助転作組合より、令和6年産麦の集団転作事業に基づくブロックローテーション及び固定団地約70.6haの水田を借地しました。

借地期間は1年とし、毎年10月1日から翌年9月30日まで借用しますが、大豆を作付けする水田は、更に翌年2月頃まで借用します。

(2) 農業生産

1) 麦栽培

令和5年産の麦は、5月から6月にかけて刈り取り作業を行いました。  
麦の品種、作付面積及び出荷量は下記のとおりです。

単位：t

区 分		J A出荷		計
品 種	作付面積			
大麦 (カシマムギ)	約10.6ha	2等	43.580	43.580
小麦 (さとのそら)	約55.4ha	1等	183.360	221.360
		2等	38.000	
合 計	約66.0ha		264.940	264.940

2) 大豆栽培

令和5年度の大豆は、7月の播種後に雑草抑制のため除草剤の散布や殺菌剤、殺虫剤の散布、生育状況に合わせた管理を行い、11月の下旬から12月上旬に収穫しました。  
大豆の品種、作付面積及び出荷量、種子更新分の状況は下記のとおりです。

単位：kg

区 分		J A出荷		種子更新分	計
品 種	作付面積				
タチナガハ	9.8ha	2等	8,370		10,500
		3等	1,980		
		特定加工	150		
サチユタカ	14.0ha	2等	9,600		20,820
		3等	11,220		
フクユタカ	14.9ha	2等	27,540		33,420
		3等	5,880		
里のほほえみ	3.3ha	2等	6,960	750	7,950
		特定加工	240		
合 計	42.0ha		71,940	750	72,690

3) 大豆種子栽培

大豆種子栽培の状況は、下記のとおりです。

単位：kg

区 分		数量
品 種	作付面積	
里のほほえみ	0.5ha	330

### (3) 枝豆オーナー制度

参加者は40組64区画で、7月3日から7月31日に収穫作業を実施しました。

## 3 農業関係施設の運営事業

### (1) 野田市堆肥センター運営業務

廃棄物の発生抑制、再利用を促進するため、剪定枝、刈草、落葉を活用して良質な堆肥を生産し、化学肥料の減量等による環境保全型農業を推進することにより、付加価値のある持続性の高い農業を展開するための施設の運営管理を行いました。

また、もみ殻牛ふん堆肥や剪定枝等堆肥の運搬散布を行い、市独自の有機堆肥を使って生産した農産物のブランド化を推進するため、適切に施設管理を行いました。

更に、野田市畜産クラスター推進協議会からの依頼により、8月から12月には飼料用米の粃米を粉碎し、SGS（ソフト・グレイン・サイレージ）の加工及び酪農家への運搬を実施しました。

#### 1) 搬入量

- ①剪定枝・刈草・落葉搬入量 ————— 約3,001t（前年度比－32t）
- ②もみ殻回収量 ————— 約 835t（前年度比＋5t）

#### 2) 搬出・運搬量

- ①剪定枝等堆肥の搬出量 ————— 約 820t（前年度比－1,033t）
- ②もみ殻牛ふん堆肥の運搬量 ————— 約 489t（前年度比－442t）

#### 3) 飼料用米粉砕加工（SGS）

- ①多収性品種米（加工量） ————— 約 169t（前年度比＋33t）
- ②一般品種米（加工量） ————— 約 0t（前年度比－7t）

### (2) 野田市木野崎農業構造改善センター施設管理業務

本社機能を有する野田市木野崎農業構造改善センターについて、野田市から施設管理業務を受託し、適切に施設管理を行いました。

令和5年度の施設の利用状況は、145件（1,473名）で、主に地元自治会の会合や味噌づくり等に利用されました。

## 4 その他の受託事業

### (1) 小船橋水辺公園管理業務

市民の憩いの場として、レクリエーションや休憩など、気軽に利用できる施設管理を実施しました。

園内の管理 受託面積 約1.3ha	
除草・芝刈	芝生の刈取りと雑草の除草作業を年2回実施
高木の剪定	枝の剪定と整枝、片付け作業を年1回実施
園内の清掃	駐車場、トイレ、園路の清掃を週1回実施
公園の巡回	いたずら防止等園内の巡回を週1回実施

(2) はきだし沼周辺田の整地業務

船形耕地のはきだし沼及びその周辺に生息する希少生物の生育環境整備のため、年3回除草作業を実施しました。

(3) 関宿落堀ビオトープ管理業務

関宿落堀の良好な自然環境を維持するため、除草作業3回及び月1回の見回りごみ拾いを実施しました。

(4) 尾崎地区保全業務

生物多様性の保全された良好な自然環境に回復させるため、令和6年1月に除草作業と不法投棄物の回収を行いました。

5 コウノトリ飼育及び飼育施設等管理業務

野田市が生物多様性のシンボルとして位置づけているコウノトリについて、コウノトリ飼育等業務を受託し、飼育管理を行うと共に、飼育施設の管理、視察や見学者の対応、グッズの販売、放鳥個体の採餌環境整備などを行いました。

(1) 飼育

令和5年6月、飼育個体のミライの糞排泄空付近に異物が認められたことから、獣医師にて摘出手術を行いました。

なお、ミライはペアリングのため、令和5年10月に東京都多摩動物公園に移送しました。その他、異常が確認された個体は、獣医師の診察のもとで投薬を開始し治療を行いました。

(2) 繁殖

令和5年5月に兵庫県立コウノトリの郷公園から卵を譲り受け、托卵を行いました。その後2羽の雛がふ化し、8月に「ココ」「マメ」と命名され、放鳥が行われました。

「マメ」は当日に飛び立ち、12月には江川地区で目撃されました。

「ココ」は、放鳥当日に高圧鉄塔付近で落下し、保護された後に死亡が確認されました。

(3) 来館者

コウノトリ観察棟は、鳥インフルエンザの影響を受け、令和5年2月から休館としましたが、令和5年4月18日より一般公開を再開しました。

入場者数（来館名簿記入者）は4,881名で、前年度より1,205名増加しました。

(4) その他

令和5年5月と6月には、栃木県小山市、茨城県神栖市、行方市の野外繁殖した幼鳥の足環装着に協力しました。

また、11月には「関東エコロジカル・ネットワーク10周年シンポジウム」にて「晩秋の里山で“コウノトリの巣づくり”体験」と題してコウノトリの巣づくり体験を行いました。

6 農業人材育成事業

若手の就農希望者の受け皿として、新規就農希望者に対して野菜の育成や実践的な研修に取り組みました。

生産は、人参、枝豆、玉ネギ、ほうれん草、ジャガイモを栽培し、総収量14,145kgを

市場及び直売所へ出荷しました。

なお、令和5年度の就農希望者は述べ人数5名でしたが、新規就農には至りませんでした。

7 補助金関係等

単位：円

	名 称	摘 要	金 額
関東農政局	畑作物の直接支払交付金における面積払交付金	麦及び大豆の栽培面積に対する交付金	19,544,000
	畑作物の直接支払交付金における数量払交付金	麦及び大豆の生産量と品質に対する交付金	13,016,492
	水田活用の直接支払交付金	船形地区の互助転作の麦及び大豆の作付け面積に対する交付金	24,118,626
千葉県	千葉県農業用生産資材価格高騰緊急支援事業給付金		200,000
野田市	大規模ブロックローテーション促進事業補助金	麦作面積に対する補助金	6,084,000
	農業人材育成事業補助金	市と協働で人材育成を実施する事業者に対する補助金	17,075,000
	野田市動力光熱費高騰対策事業補助金		500,000
野田市 (農業資材対策協議会)	病虫害防除薬剤購入費用補助金及び地上防除奨励金		3,802,800
野田市 (農業再生協議会)	転作定着化促進事業補助金		277,000
合 計			84,617,918

8 取締役及び他の役員（第19期 令和5年度）

区 分	氏 名	備 考
代表取締役	今村 繁	野田市副市長
専務取締役	菅野 透	
常務取締役	木全 敏夫	
取 締 役	小田川 豊	野田市建設局長
取 締 役	宇田川 克巳	野田市自然経済推進部長
取 締 役	伊藤 敏弘	船形事業所長
取 締 役	永井 盛雄	江川事業所長
会 計 参 与	秋葉 芳秀	税理士
監 査 役	濱田 宏志	税理士

9 株式の状況（令和6年3月31日現在）

(1) 株主数・・・5名

(2) 株主

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
千葉県野田市	6,206株	99.9195%
菅野 透	2株	0.0322%
木全 敏夫	1株	0.0161%
伊藤 敏弘	1株	0.0161%
永井 盛雄	1株	0.0161%
計	6,211株	100%



## 10 経過概要

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの主な経過概要

月 日	曜日	主 な 経 過 概 要
4月 1日	土	菅野透専務取締役就任
4月 18日	火	こうのとりの里 一般公開再開
4月 23日	日	江川地区水田型市民農園 田植え
4月 25日	火	農業体験学習 福田第一・第二小学校 田植え
4月 27日	木	興風会 長寿大学講座 江川地区・コウノトリの取り組み
5月 11日	木	福田中学校「わくわく理科教室」事前学習
5月 13日	土	コウノトリの郷公園から卵移送
5月 18日	木	コウノトリの卵 2羽孵化
5月 19日	金	小山市コウノトリ幼鳥足環装着協力
5月 22日	月	野田市農産物加工推進協議会総会
5月 24日	水	定時取締役会
5月 29日	月	大麦検査
5月 31日	水	小林弘幸取締役退任
6月 1日	木	定時株主総会
6月 4日	日	新潟大学校外学習 江川地区の取り組み説明
6月 18日	日	江川地区水田型市民農園 草取り及び自然観察会
6月 22日	木	東京大学農学部 生物多様性科学実習
6月 23日	金	中央公民館生物多様性講座 中央公民館
6月 26日	月	神栖市・行方市コウノトリ幼鳥足環装着協力
6月 27日	火	第16回コウノトリと共生する地域づくり推進協議会総会
6月 28日	水	コウノトリ一斉捕獲 幼鳥足環装着
7月 11日	火	コウノトリ観察棟一般見学再開
7月 12日	水	福田第一小学校・第二小学 稲の生育観察・生き物調査
7月 19日	水	コウノトリ一斉捕獲
7月 21日	金	兵庫県立コウノトリの郷公園視察（～22日）
7月 30日	日	江川地区市民農園 ホテル観察会
8月 5日	土	野田自然保護連合会自然観察会協力
8月 16日	水	SGS視察研修 堆肥センター
8月 23日	水	コウノトリ幼鳥2羽放鳥「ココ」「マメ」、ココ事故死
8月 27日	日	江川地区市民農園 稲刈り 避難所開設訓練 木野崎農業構造改善センター（本社）
8月 28日	月	定時取締役会
9月 1日	金	船形互助転作組合総会
9月 5日	火	福田第一小学校・第二小学 稲刈り協力
9月 26日	火	川間資源環境保全会
10月 1日	日	江川地区水田型市民農園 収穫祭
10月 4日	水	コウノトリ「ミライ」多摩動物公園へ移送
10月 7日	土	東武鉄道・つくばエクスプレス合同企画ハイキング協力（～8日）
10月 12日	木	J A大規模営農組織協議会

10月16日	月	令和5年産大豆採種圃場現地指導会
10月17日	火	枝豆オーナー制度反省会議
10月29日	日	野田自然保護連合会自然観察会協力
11月9日	木	みどりのふるさとづくり実行委員会 稲わらづくり研修協力
11月14日	火	GAP研修 農業人材育成事業所
11月15日	水	江川地区餌生物用池造成工事開始
11月16日	木	子供食堂に関する意見交換会
11月18日	土	福田中学校フィールドワーク協力
11月22日	水	獣医師との勉強会
11月23日	木	関東エコロジカル・ネットワーク10周年記念シンポジウム 展示・グッズ販売協力、こうのとり「コウノトリ巣作り体験」
11月26日	日	野田アウトドアスポーツフェスタ2023 ポスター展示・グッズ販売協力 関宿滑空場（NSSP「空まつり会場」）
11月28日	火	定時取締役会
12月1日	金	枝豆オーナー制度反省会議
12月8日	金	大豆「サチユタカ」検査
12月12日	火	GAP研修 農業人材育成事業所
12月14日	木	野田市畜産クラスター推進協議会総会
12月20日	水	コウノトリー斉捕獲
12月25日	月	大豆「タチナガハ」「里のほほえみ」検査
1月16日	火	GAP研修 農業人材育成事業所
1月19日	金	優良従業員表彰式代理受賞（受賞者 堆肥センター長）
2月13日	火	GAP研修 農業人材育成事業所
2月28日	水	野田市コウノトリに関する有識者会議
3月4日	月	メンタルヘルスセミナー受講（役員、社員等）
3月9日	土	こうのとりまつり2024（～10日）協力 多摩動物公園
3月20日	水	生物多様性セミナー協力
3月28日	木	定時取締役会、臨時株主総会
3月31日	日	木全敏夫常務取締役、伊藤敏弘取締役、小田川豊取締役の3名退任

第 1 9 期

# 決 算 報 告 書

令 和 5 年 4 月 1 日 から

令 和 6 年 3 月 3 1 日 まで

株 式 会 社 野 田 自 然 共 生 フ ァ ー ム

( 法 人 番 号 :5040001072121)

貸借対照表

商号 株式会社 野田自然共生ファーム

代表者 今村 繁

令和 6年 3月 31日 現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
( 資 産 の 部 )		( 負 債 の 部 )	
I 流 動 資 産	( 105,925,821 )	I 流 動 負 債	( 78,798,844 )
現 金 及 び 預 金	63,510,499	未 払 費 用	45,798,506
棚 卸 資 産	48,142	未 払 法 人 税 等	3,235,435
前 払 費 用	30,527,073	未 払 消 費 税 等	322,000
未 立 収 入 金	432,874	前 受 り 金	2,855,000
貸 倒 引 当 金	11,415,179	預 戻 金	14,404,401
	57,454	仮 受 引 当 金	10,000,000
△	65,400	賞 与 引 当 金	83,502
			2,100,000
II 固 定 資 産	( 239,643,866 )	II 固 定 負 債	( 19,510,100 )
有 形 固 定 資 産	( 238,467,701 )	長 期 借 入 金	2,600,000
建 築 物	24,897,942	長 期 未 払 金	12,437,100
機 械 及 び 装 置	1,039,133	退 職 給 付 引 当 金	4,473,000
車 両 運 搬 具	27,507,294		
工 具 器 具 及 び 備 品	45,718		
建 物 附 属 設 備	705,631		
土 地	2,523,238		
	181,748,745		
無 形 固 定 資 産	( 50,000 )		
保 証	50,000		
		負 債 の 部 合 計	98,308,944
		( 純 資 産 の 部 )	
		I 株 主 資 本	( 247,260,743 )
		1. 資 本 金	100,000,000
		2. 資 本 剰 余 金	183,032,296
		(1) 資 本 準 備 金	155,275,000
		(2) そ の 他 資 本 剰 余 金	27,757,296
		3. 利 益 剰 余 金	27,757,296
		(1) そ の 他 利 益 剰 余 金	( △ 35,771,553 )
		繰 越 利 益 剰 余 金	( △ -35,771,553 )
			△ 35,771,553
		II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	( 0 )
III 繰 延 資 産	( 0 )	III 新 株 予 約 権	( 0 )
		純 資 産 の 部 合 計	247,260,743
資 産 の 部 合 計	345,569,687	負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	345,569,687

損益計算書

商号 株式会社 野田自然共生ファーム

令和5年4月1日から  
令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 売上高 農産物売上高 業務受託収入 市民農園収入等 作付助成金・交付金収入	21,653,785 124,773,987 1,113,080 79,838,118	227,378,970 227,378,970
II 売上原価 期首棚卸高 市場等出荷販売手数 当期製品製造原価 合計 期末棚卸高 売上総利益	521,895	31,472 521,895 203,057,717 203,611,084 228,520 203,382,564 23,996,406
III 販売費及び一般管理費 販売費及び一般管理費 営業損失		53,876,995 53,876,995 29,880,589
IV 営業外収益 受取補助金 受取配当 雑収入		424 4,779,800 100 15,296,913 20,077,237
V 営業外費用 支払利息		19,578 19,578
経常損失		9,822,930
VI 特別利益 固定資産売却益		90,909 90,909
VII 特別損失 固定資産売却除却損		366,090 366,090
税引前当期純損失 法人税、住民税及び事業税		10,098,111 322,073
当期純損失		10,420,184

**販売費及び一般管理費の計算内訳**

令和 5 年 4 月 1 日 から  
令和 6 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目	金 額
旅 費	2,709
廣 告 宣 伝 費	305,000
イ ベ ン ト 費 用	316,318
役 員 報 酬	14,552,000
事 務 員 給 与	16,886,632
従 業 員 賞 与	2,148,000
法 定 福 利 費	5,220,169
厚 生 費	446,952
退 職 金	309,000
減 価 却 費	150,776
賃 借 料 ・ リ ー ス 料	2,347,920
修 繕 費	242,500
事 務 用 消 耗 品 費	1,585,350
通 信 費	2,381,684
水 道 光 熱 費	476,333
租 税 公 課	309,852
接 待 交 際 費	9,065
保 険 料	660,270
備 品 消 耗 品 費	1,755,570
管 理 諸 費	2,853,120
一 般 車 両 関 係 費	56,300
図 書 費 ・ 研 修 費	56,728
交 通 費	484,604
貸 倒 償 却 費	36,800
雑 費	283,343
合 計	53,876,995

**棚卸資産の計算内訳**

令和 6 年 3 月 31 日 現在

(単位:円)

科 目	金 額
農 産 物	228,520
原 材 料	213,925
未 収 穫 農 産 物	22,347,109
貯 蔵 品	7,737,519
合 計	30,527,073

## 製 造 原 価 報 告 書

令和 5 年 4 月 1 日 から  
令和 6 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目	金 額
I 材 料 費	
期首材料棚卸高	60,480
種 苗 費	4,160,409
合計	4,220,889
期末材料棚卸高	213,925
当期材料費	4,006,964
II 労 務 費	
賃 金	63,386,118
賞 与	7,337,300
退 職 金	210,000
法定福利費	10,014,008
厚生労働費	1,555,110
当期労務費	82,502,536
III 経 費	
肥料費・農薬衛生費	21,031,315
外注作業費	85,040
電 力 費	3,054,143
軽灯油等燃料費	11,721,918
運賃	26,180
減価償却費	17,375,824
修繕費	22,911,745
租税公課・負担金	1,097,250
賃借料・リース料	22,120,475
共済掛金・保険料	1,430,509
諸 資 材 費	10,175,572
農 具 費	196,371
交 通 費	1,700,412
図書費・研修費	436,698
車両関係費	5,186,069
土地改良費・水利費	2,174,686
雑 費	2,180,017
当期経費	122,904,224
当期総製造費用	209,413,724
期首農産物等棚卸高	15,991,102
合計	225,404,826
期末農産物等棚卸高	22,347,109
当期製品製造原価	203,057,717





## 第20期（令和6年度）事業計画

自 令和 6年4月 1日

至 令和 7年3月31日

江川地区においては、自然と共生する環境保全型農業を推進するため、引き続き減農薬による水稲の生産を行うと共に、自然環境保全管理業務など、更に自然と共生する農業を推進してまいります。

また、水田型市民農園は引き続き開催しますが、諸物価高騰の影響を受けて、利用料金を値上げします。

なお、今後、市民農園の在り方等も検討してまいります。

船形地区においては、引き続き麦及び大豆の生産・販売、小船橋水辺公園の管理業務等を行ってまいります。

また、農業人材育成事業においても、人参、枝豆を中心とした野菜の生産・販売の実務研修を行ってまいります。

更に、野田市からの受託事業として、野田市堆肥センター運営業務、コウノトリ飼育及び施設等管理業務、木野崎農業構造改善センター運営管理業務等の管理業務を行ってまいります。

なお、農業経営については、引き続き効率的経営に努め、安定経営を目指してまいります。

### 1 江川地区の農業事業

現在でも圃場の含水率が高く、作付けが困難な状況ですが、引き続き圃場の再整備を図り、収穫量増を目指してまいります。

#### (1) 圃場整備作業

水稲生産予定区域において、圃場整備作業を実施します。

1) 作業内容 除草作業・水路の整備作業・均平整地作業・畦畔整備作業等

#### (2) 水稲生産

1) 生産目標面積 約 4.5ヘクタール（市民農園圃場含む）

2) 目標収穫量 約 10トン

#### (3) 水田型市民農園の実施

面積 約 2.1ヘクタール

募集内容 ファミリー型 500区画（500名）

オーナー型 40区画（1区画5名以上・15名迄）

#### (4) エコロジカルネットワークへの取組み

1) コウノトリ野生復帰計画への全面的協力

2) 水路整備（魚道整備含む）

3) 里地里山の保全

### (5) 江川地区自然環境保全管理業務

江川地区自然環境保護対策基本計画書及び第2期生物多様性の戦略に基づき、生物多様性が保全された江川地区を将来に渡り維持し、江川地区の里地・里山を良好に保全管理するため、引き続き必要な業務を行おうとするものです。

## 2 船形地区の農業事業

### (1) 麦及び大豆の生産

引続き、船形互助転作組合から水田を借地し、麦及び大豆の生産を行います。生産にあたっては、千葉県東葛飾農業事務所の技術指導を受けて栽培基準に基づき適正に作業管理を行うと共に、研修等を通して栽培技術の向上並びに品質及び収穫量の向上に努めてまいります。

適期作業の励行	気象条件と作業適期の検討	随時
土壌検査	地力、施肥量の把握	年2回
研修会	社内外研修会	年4回程度
令和6年産麦生産目標 (令和6年6月収穫予定)	作付面積 大麦(カシマムギ) 小麦(さとのそら) 目標収穫量 大麦 小麦	71.9ha 13.3ha 58.6ha 145t 32t 113t
令和7年産麦生産目標 (令和6年11月播種予定)	作付面積 大麦(カシマムギ) 小麦(さとのそら)	57.1ha 11.6ha 45.5ha
令和6年産大豆生産目標 (令和6年12月収穫予定)	作付面積 目標収穫量	46.0ha 63.0t

### (2) 枝豆オーナー制度

野田市農産物ブランド化推進協議会からの開設依頼により、引き続き枝豆オーナー制度に係わる農園を継続開設しようとするものです。

## 3 農業関係施設の運營業務

### (1) 野田市堆肥センター運營業務

廃棄物の発生抑制、再利用を促進し、剪定枝、刈草、落葉を活用して良質な堆肥を生産し、化学肥料の減量等による環境保全型農業を推進することにより、付加価値のある持続性の高い農業を展開するための施設の運営管理、もみ殻と牛ふんを使った有機肥料の生産と運搬散布を行い、市独自の有機肥料を使って生産した農作物のブランド化を推進するため、適切な施設管理を行ってまいります。

また、野田市畜産クラスター推進協議会が実施するもみ米SGS(ソフト・グレイン・サイレージ)加工作業についても、引き続き受託しようとするものです。

(2) 木野崎農業構造改善センター施設管理業務

引き続き、施設管理業務仕様書に基づき、適切に施設管理業務を受託しようとするものです。

4 その他の受託事業

(1) 小船橋水辺公園管理業務

市民の憩いの場として気軽に利用できる施設管理を図るため、引き続き受託しようとするものです。

園内の管理		
除草・芝刈	雑草の除草作業と芝生の刈取り	年2回
高木の剪定	枝の剪定と整枝作業	年1回
園内の清掃	駐車場、トイレ、園路の清掃	週1回
公園の巡回	いたずら防止等園内の巡回	週1回

(2) はきだし沼周辺田の整地業務

希少生物の保護を図るため、引き続き受託しようとするものです。

(3) 関宿落堀ビオトープ管理業務

関宿落堀の良好な自然環境を維持するため、引き続き受託しようとするものです。

(4) 尾崎地区保全業務

尾崎地区の生物多様性の保全された良好な自然環境を維持するため、引き続き受託しようとするものです。

5 コウノトリ飼育及び飼育施設等管理業務

コウノトリについては、平成27年から毎年1羽以上の雛の放鳥を行ってまいりましたが、引き続き飼育個体の適切な飼育管理に努め、1羽以上の雛の放鳥または野外個体の繁殖を目指してまいります。

なお、餌生物の調査や、草地または水辺環境の整備も継続し、施設の展示の充実を図ると共に、コウノトリの生息環境や生態についての普及啓発に努めます。

6 農業人材育成事業

引き続き、人参、枝豆を中心とした栽培を行います。

また、基幹農作物以外に就農希望者自ら栽培したい作物についても積極的に取り入れ、新規就農に向けた指導を行ってまいります。

第 20 期 予算

自 令和 6 年 4 月 1 日  
至 令和 7 年 3 月 3 1 日 単位：千円

収入				支出			
項目	予算額			項目	予算額		
	第19期	第20期	比較		第19期	第20期	比較
1 農業生産売上	51,271	50,627	-644	1 農業製造原価	222,307	241,631	19,324
(1) 水稲売上	2,000	2,000	0	(1) 材料費	4,244	3,097	-1,147
(2) 麦売上	4,000	5,000	1,000	(2) 労務費	33,428	35,857	2,429
(3) 大豆売上	7,000	7,000	0	(3) 農業経費	59,062	63,927	4,865
(4) 市民農園売上/枝豆売上	618	862	244	① 肥料費・農業衛生費	22,041	21,705	-336
(5) 経営所得安定対策等(国)	37,653	35,765	-1,888	② 電力費	1,430	1,749	319
2 農業受託売上	134,416	155,221	20,805	③ 燈灯油等燃料費	4,000	4,000	0
① 小船橋水辺公園管理	1,564	1,810	246	④ 修繕費	3,300	4,950	1,650
② 自然環境維持管理業務	6,400	7,203	803	⑤ 賃借料・リース料	1,320	1,870	550
③ 堆肥センター運営業務	104,018	103,598	-420	⑥ 共済掛金・保険料	1,930	1,930	0
④ 木野崎農業構造改善センター運営管理業務	1,300	2,368	1,068	⑦ 麦田地賃借料	18,000	18,300	300
⑤ 休耕地草刈等	1,174	1,196	22	⑧ 土地改良費・水利権	2,085	2,086	1
⑥ コウノトリ飼育等委託業務	19,059	19,744	685	⑨ その他	4,956	7,337	2,381
⑦ 冬期湛水水田管理委託	534	534	0	(4) 小船橋水辺公園	1,484	1,661	177
⑧ 関宿落堀ピオトープ管理業務	367	420	53	(5) 自然環境維持	5,970	6,608	638
⑨ 農業人材育成事業	0	18,348	18,348	(6) 堆肥センター	98,576	94,181	-4,395
				(7) 休耕地草刈等	1,116	1,122	6
3 補助金収入	26,965	10,479	-16,486	(8) コウノトリ飼育等	18,079	18,112	33
(1) 県補助金	6,000	6,729	729	(9) 関宿落堀ピオトープ	348	386	38
(2) 市補助金	0	0	0	(10) 農業人材育成事業	0	16,680	16,680
(3) 農業人材育成事業	17,075	0	-17,075	2 販売及び一般管理費	36,699	31,901	-4,798
(4) 転作定着化促進事業	0	0	0	(1) 木野崎農業構造改善センター運営管理業務	1,300	2,172	872
(5) 地上防除奨励金・薬剤購入補助金	3,890	3,750	-140	(2) 人件費等	28,857	23,297	-5,560
4 雑収入	23,961	64,606	40,645	(3) その他	6,542	6,432	-110
補償料等(線下保障等)	13,800	13,800	0				
農地売却内金	10,161	50,806	40,645				
小計	236,613	280,933	44,320	小計	259,006	273,532	14,526
				3 就農支援事業費	17,075	0	-17,075
5 資本金・資本準備金	65,468	16,807	-48,661	4 退職金積立金	579	737	158
				5 機械等購入費	18,606	23,471	4,865
				6 農地取得費	6,815	0	-6,815
小計	65,468	16,807	-48,661	小計	43,075	24,208	-18,867
合計	302,081	297,740	-4,341	合計	302,081	297,740	-4,341